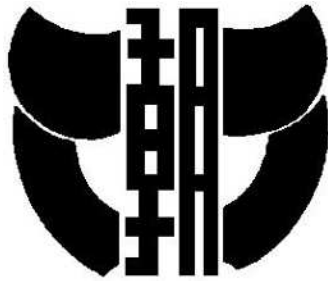


令和5年度
西朝明中学校
第1学年シラバス



授業は真剣勝負!

☆教科目標

☆各教科でつけたい力

☆学習方法についてのアドバイス

☆年間学習予定

第1学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。 (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識及び技能〕 (2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	国語1(光村図書) 新しい書写1・2・3年用(東京書籍)
副教材	国語の学習 たびたび漢字練習帳 役立つ文法 新国語便覧

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項(漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等) (2)情報の扱い方に関する事項(文章や資料等の関係を理解や整理等) (3)我が国の言語文化に関する事項(伝統的な言語文化や書写等)	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・授業の様子や発言内容 ・書写作品	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品、作文等)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家庭	・授業に入る前には、教材文を繰り返し読み、新しい漢字や分からない言葉を調べましょう。 ・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しましょう。 ・自分が興味をもった本を中心に計画的に本を読むようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
一 学 期	朝のリレー(読) 野原はうたう(読) 声を届ける(話・聞) 書き留める/言葉を調べる(書) シンジュン(読) [聞く]情報を的確に聞き取る(話・聞) 情報整理のレッスン 比較・分類(情報) 情報を整理して書こう(書) ダイコンは大きな根?(読) ちょっと立ち止まって(読) 思考のレッスン 1 意見と根拠(情報) 話の構成を工夫しよう(話・聞) 情報を集めよう/情報を読み取ろう/情報を引用しよう(情報) 詩の世界(読) 比喩で広がる言葉の世界(読) 読書を楽しむ(読書) 本の中の中学生(読書)	・音声の働きや仕組みについて、理解を深める ・音読・発表・ノートの書き方、言葉の調べ方などを理解する。 ・心情や行動を表す語句に注意して読む。 ・場面の展開に沿って、登場人物の関係の変化を捉える。 ・情報の聞き取り方や整理の仕方などを理解する。 ・情報を比較したり分類したりして整理する。 ・本文中で比較がどのように使われているかを確かめる。 ・段落の役割に着目して、文章の内容を捉える。 ・筆者の主張と事例との関係を理解する。 ・段落のまとまりに着目し、文章の要旨を捉える。 ・説得力のある文章について理解する。 ・聞き手に分かりやすくスピーチをする。 ・情報の集め方や活用のしかたを理解する。 ・詩を読み味わい、表現の効果について考える。 ・比喩について理解し、言葉についての考えを深める。 ・各段落の役割や文章の内容を正確に捉える。 ・読書がもつ役割について理解する。
二 学 期	大人になれなかった弟たちに……(読) 星の花が降るころに(読) 聞き上手になろう(話・聞) 項目を立てて書こう(書) [推敲]読み手の立場に立つ(書) 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(読) 思考のレッスン 2 原因と結果(情報) 根拠を示して説明しよう(書) [話し合い]話し合いの展開を捉える(話・聞) 話題や展開を捉えて話し合おう(話・聞) 音読を楽しもう 大阿蘇(読) 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から(読) 今に生きる言葉(読) 「不便」の価値を見つめ直す(読) 助言を自分の文章に生かそう(書) 考える人になろう(読書)	・関連する本を読み、自分の考えを広げる。 ・描写を基に登場人物の行動や心情の変化を捉える。 ・比喩の表現を理解し、場面や人物などの描写を結び付けて読む。 ・質問のしかたや書き方の工夫を知る。 ・相手や目的に合わせて情報を選び、整理し、伝える。 ・伝えたい事柄が明確に書き表されているか考える。 ・筆者の意見と根拠、文章の構成や展開の効果について考える。 ・原因と結果、意見と根拠などの関係について理解する。 ・根拠について考え、説得力のあるレポートを書く。 ・意見と根拠などの関係を理解し、話し合う。 ・話題や展開を捉えながら話し合う。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・仮名遣いに注意しながら音読し、古典のリズムを通してその世界に親しんだり、登場人物の関係や思いに着目して読んだりする。 ・漢文を音読し、リズムや言い回しに親しむ。 ・故事成語について理解し、自分の生活と結び付けて考える。 ・必要な情報を取り出し、結び付けて要約するとともに、それに対する自分の考えをもつ。 ・助言を基にして、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。
三 学 期	少年の日の思い出(読) 随筆二編(読) 構成や描写を工夫して書こう(書) 一年間の学びを振り返ろう(話・聞)(書) さくらの はなびら(読)	・語句の意味に注意して読むとともに、場面の展開や表現の効果、語り手に着目して読み深める。 ・場面の展開や描写を基に、筆者の考えや思いを捉える。 ・書く内容が明確になるように構成や描写を考えて書く。 ・一年間の学習の中から観点を決め、材料を集めて整理し、自分の考えを分かりやすく伝える。

第1学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1)我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	社会科 中学生の地理(帝国書院)、新しい社会 歴史(東京書籍)、地図帳(帝国書院)
副教材	社会の自主学习「地理1」「歴史1」、三河地区地形図・三河地区歴史地図、白地図ワークシート「世界地理」(新学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【地理】 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【歴史】 我が国の中世までの歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	【地理】 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【地理】 世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題 単純な技能をはかる実技テスト など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 ノート・ポートフォリオなどの記述 授業中の発言 など	授業中の活動や発言 ノート・ポートフォリオなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら、自分の考えを再構築しましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、地図帳や資料集を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
家庭	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	④【世界と日本の地域構成】 (地)世界の姿	・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 ・世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
	④【日本のさまざまな地域】 (地)身近な地域の調査	・観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解する。 ・地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付ける。 ・地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
	(地)日本の姿	・我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解する。 ・日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。

1 学 期	④【世界のさまざまな地域】 (地)人々の生活と環境	・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。また、世界の主な宗教の分布についても理解する。 ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
2 学 期	④【世界の諸地域】 (地)アジア州 (地)ヨーロッパ州 (地)アフリカ州 (地)北アメリカ州 (地)南アメリカ州 (地)オセアニア州 ※世界の各国・諸地域の情勢によって、各州の学習順が入れかわることがあります。	・世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に、各州の地域的特色を大観し理解する。 ・アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 ・世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。
	(歴)【歴史へのとびら】 (歴)歴史をとらえる見方・考え方 (歴)身近な地域の歴史	・年表の読み取りを通して、年代の表し方や時代区分についての基本的な意味や意義を理解する。 ・身近な地域の歴史について、自ら目標を定め、課題の解決に向けて主体的に学習する態度を身に付ける。
	(歴)【古代までの日本】 (歴)世界の古代文明と宗教のおこり	・人類が進化してきた過程や、人類の特徴を理解する。 ・古代文明がおこった地域の特徴を考察し、表現する。 ・ギリシャ・ローマの文明が、現在のヨーロッパ文化と深く結びついていることに気付く。 ・古代の宗教のおこりについて、その概略を理解する。
	(歴) 日本列島の誕生と大陸との交流	・縄文時代の人々の生活の様子を、考古学の成果を活用しながら具体的に理解する。 ・日本の国家が形成されていく過程のあらましを、東アジアとの関わりを通して捉える。 ・様々な資料を通して、日本と中国・朝鮮半島との交流について気付く。
	(歴) 古代国家の歩みと東アジア世界	・正倉院の宝物や地図から、中国、西アジアやインドなどの影響が見られることに気付く。 ・平安遷都の理由や意義、平安時代初めの政治の特色について理解する。 ・藤原氏が行った摂関政治の特徴について理解する。 ・代表的な事例を通して、国風化した文化の特色を理解する。
3 学 期		

3 学 期	(歴) 【中世の日本】 (歴) 武士の政権と成立	・武士が次第に勢力を広げたことを、都や地方で起きた戦乱の様子などから理解する。 ・荘園と公領からなる新しい土地制度の広がり、武士の成長との関連を捉える。 ・院政の特色を、摂関政治と比較して理解する。 将軍や執権と御家人の関係に着目して、武家政権の特色を考察し、表現する。 ・鎌倉時代の武士の生活の様子を、絵巻物や文書資料などを通して捉える。 ・代表的な事例を通して、鎌倉時代の文化の特色を理解する。
	(歴) ユーラシアの動きと武士の政治の展開	・モンゴル帝国の成立過程や文化について、その特徴を理解する。 ・鎌倉幕府が滅亡した理由を、モンゴルの襲来の影響や社会の変化から考察し、表現する。 ・建武の新政から南北朝の動乱に至る経過を理解する。 ・室町幕府と鎌倉幕府の仕組みを比較して、その特徴を捉える。 ・琉球や蝦夷地の人々の交流や結び付きを理解する。 ・農業や商業・手工業などが発達し、民衆の力が伸びてきたことを理解する。 ・戦国大名の登場とその支配について、応仁の乱や下剋上の状況から考察し、表現する。 ・代表的な文化財を取り上げて、室町時代の文化の特色を理解する。

第1学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる数学1(啓林館)
副教材	リピート学習・単元テスト

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。
・定期テスト・単元テスト ・授業の様子や発言内容	・定期テスト・単元テスト ・授業様子や発言内容	・小テスト・授業ファイル ・振り返り・自主学習ノート ・授業様子や発言内容

3 学習についてのアドバイス

学校	・これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 ・自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えるようにしましょう。 ・他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 ・ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
家庭	・分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。 ・授業で学習した内容に関連する問題(「学んで E-net!」の標準問題や発展問題)でしっかりと練習するようにしましょう。 ・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	・正の数・負の数 1 0より小さい数 2 正の数・負の数で量を表すこと 3 絶対値と数の大小	(知)正の数・負の数の必要性和意味を理解し、数直線上に表したり、読み取ったりすることができる。 (思)反対の性質をもつ量や、ある基準を決めたときの量を表すときの方法を考察し表現することができる。
	・正の数・負の数の計算 1 正の数・負の数の加法、減法 2 正の数・負の数の乗法、除法 3 いろいろな計算 4 数の世界のひろがり	(知)正の数・負の数の計算の意味を理解し、その計算ができる。 (思)算数で学習した数の計算と関連付けて、正の数・負の数の計算の方法を考察し表現することができる。
	・正の数・負の数の利用 1 正の数・負の数の利用	(知)身近な事象を負の数を用いて表現し、処理することができる。 (思)身近な事象を数学的に捉え、正の数・負の数を用いて考察し表現することができる。
	・文字を使った式 1 数量を文字で表すこと 2 文字式の表し方 3 式の値	(知)文字を使うことの必要性和意味を理解し、文字式の約束に従い数量を文字式に表したり、文字式から数量を読み取ったりすることができる。 ・文字式に数を代入して、式の値を求めることができる。 (思)文字式での数量の関係の表し方や、式が何を意味しているのかについて考察し表現することができる。また、式の値を求める意味を、具体的な場面と関連づけて考察し表現することができる。
	・文字式の計算 1 文字式の加法、減法 2 文字式と数の乗法、除法 3 関係を表す式	(知)一次式の意味を理解し、計算ができる。また、数量の関係を等式や不等号で表したり、意味を読み取ったりすることができる。 (思)一次式の計算の方法を考察し表現することができる。また、文字式の数量関係の表し方や、式の意味を考察し表現することができる。
2 学 期	・方程式 1 方程式とその解 2 方程式の解き方 3 比と比例式	(知)方程式の必要性、文字や解の意味を理解し、文字に数を代入し、その数が解であるかを確認することができる。また、移項の意味を理解し、方程式を解く方法を理解することができる。 (思)等式の性質をもとにして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。また、数や文字式の計算と方程式を解く方法の違いについて考察し表現することができる。
	・方程式の利用 1 方程式の利用 2 比例式の利用	(知)事象の中の数量やその関係に着目して、方程式や比例式をつくり、その方程式や比例式を解くことができる。 (思)方程式や比例式を具体的な場面で活用し、求めた解や解決の方法を振り返り、それが適切かどうかを考察し表現することができる。
	・関数 1 関数	(知)関数の意味について理解し、具体的な事象の中から、ともなって変わる数量を見つけることができる。 (思)表やグラフを用いて、変化の様子を調べることができる。
	・比例 1 比例の式 2 座標 3 比例のグラフ	(知)具体的な事象から、比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思)具体的な事象から、比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を用いて表現することができる。
	・反比例 1 反比例の式 2 反比例のグラフ	(知)具体的な事象から、反比例の関係を見つけ、文字を用いた式に表すことができる。 (思)具体的な事象から、反比例の関係を見つけ、その変化をグラフや表を

3 学 期		用いて表現することができる。
	・比例、反比例の利用 1 比例、反比例の利用	(知)比例・反比例の関係を利用して、身のまわりの問題を、文字を使った式を使って表すことができる。 (思)比例・反比例としてとらえられる二つの数量について、表、式グラフを用いて調べ、それらの変化と対応の特徴を見いだすことができる。
	・直線と図形 1 直線と図形	(知)直線や角などについて、用語・記号を使って表すことができる。 (思)平面における2直線の位置関係を見だし、表現することができる。
	・移動と作図 1 図形の移動 2 基本の作図 3 図形の移動と基本の作図の利用	(知)図形の移動について理解し具体的な場面で、図形の移動と基本的な作図ができる。 (思)移動の前後の関係から性質や関係を見いだすことができ、基本的な作図の方法を考察し、統合的にとらえ、表現することができる。
	・円とおうぎ形 1 円とおうぎ形の性質 2 円とおうぎ形の計量	(知)弧や弦などの円に関する用語を理解し、円の接線を作図することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 (思)円の接線の性質から円の接線の作図方法を考察し表現することができる。また、おうぎ形の弧の長さや面積、中心角の求め方について考察し表現することができる。
	・立体と空間図形 1 いろいろな立体 2 空間内の平面と直線 3 立体の構成	(知)角錐、円錐や多面体の意味と、見取り図、展開図、投影図について理解し、どのような立体を表しているのかを読み取ることができる。 ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。 ・平面図形や線分の運動によって、どのような立体が構成されるかや、回転体の意味を理解している。 (思)形や面に着目し、立体の特徴と、見取り図、展開図、投影図を用いて立体の性質を見だし、考察し表現することができる。 ・空間における直線や平面の位置関係について考察し表現することができる。 ・柱体、錐体、球などの立体を、平面図形や線分の運動によって構成されていると捉えることができる。
	・立体の体積と表面積 1 立体の体積 2 立体の表面積	(知)立体の体積と表面積の求め方を理解し、求めることができる。 (思)立体の体積と表面積の求め方について考察し表現することができる。
	・ヒストグラムと相対度数 1 データを活用して、問題を解決しよう 2 整理されたデータから読み取ろう	(知)目的に応じた資料を収集し、整理することができる。 (思)整理した資料を読み取り、物事を判断し、説明をすることができる。 ・度数分布表やヒストグラムなどの必要性和意味を理解し、資料の傾向をとらえ、利用することができる。
	・データにもとづく確率 1 相対度数と確率	(知)実験などを通して、確率の意味を理解し、身の回りの事象についての確率を求めることができる。 (思)多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。

第1学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス1(啓林館)
副教材	理科の完全学習

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・発言内容 ・指導に対する成果物(ノートやレポートの記述内容)	・定期・小テスト等 ・発言内容 ・指導に対する成果物(ノートやレポートの記述内容)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容をいかして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家庭	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことをワークやドリルパーク等で復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	自然の中にあふれる生命	・校庭や学校周辺の生物の観察を行い、いろいろな生物がさまざまな場所で生活していることを見いだして理解する。 ・観察器具の操作、観察記録のしかたなどの技能を身につける。 ・いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点をもとにして分類できることを理解する。 ・分類のしかたの基礎を身につけること。 ・身近な生物を観察することで、生物に対する興味・関心を高める。
	【生命】 いろいろな生物とその共通点 1章 植物の特徴と分類 2章 動物の特徴と分類	・身近な植物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・植物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点にもとづいて植物が分類できることを見いだして理解する。 ・植物に対する興味・関心をもち、植物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。 ・身近な動物の観察を行い、その観察記録などにもとづいて、共通点や相違点があることを見いだす。 ・動物の体の基本的なつくりを理解する。 ・共通点や相違点にもとづいて動物が分類できることを見いだして理解する。 ・動物に対する興味・関心を高め、動物を観察するときどのような点に注目すればよいかを考える。
	【エネルギー】 光・音・力による現象 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	・光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだす。 ・凸レンズのはたらきについての実験を行い、物体の位置と像の位置および像の大きさや向き関係を見いだす。 ・音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じること、音は波として空気中を約 340m/s の速さで伝わること、および音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いだす。 ・物体に力をはたらかせる実験を行い、物体に力がはたらくとその物体が変形したり、動き始めたり、運動のようすが変わったりすることを見いだす。 ・力は大きさと向きによって表されることを理解する。 ・2 力のつり合いの実験を行い、1 つの物体にはたらく 2 力がつり合う条件を見いだし理解する。
2 学 期		

	【粒子】 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質 3章 水溶液の性質 4章 物質の姿とその変化	・身のまわりの物質の性質をさまざまな方法で調べる。 ・物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解する。 ・ガスバーナーや電子てんびんなどの実験器具の操作、記録のしかたなどの技能を身につける。 ・気体を発生させてその性質を調べる実験を行う。 ・気体の種類による特性を理解する。 ・気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。 ・物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を、粒子のモデルで理解する。 ・水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連づけて理解する。 ・物質の状態変化についての観察・実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解する。 ・物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知る。 ・混合物を加熱する実験を行い、沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解する。
3 学 期	【地球】 活きている地球 1章 身近な大地 2章 ゆれる大地 3章 火をふく大地 4章 語る大地	・身近な地形などの観察を通して、大地の成り立ちなどを理解する。 ・観察器具の基本的な扱い方などを身につける。 ・地震計の記録から地震のゆれの特徴を理解し、記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いだす。 ・地震の原因などをプレートの動きと関連づけて理解する。 ・さまざまな火山の活動などを調べ、それらの様子はマグマの性質が深く関係していることを考察するとともに、マグマからできる火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。 ・地層の重なり方や広がり方の規則性、構成する岩石や化石をもとに、地層が堆積した時代や当時の環境を推測する。 ・地層のでき方を理解する。 ・プレートと火山活動や地震などとの関連を総合的にとらえ、大地からの恵みや災害について理解する。

第1学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)音楽表現を創意工夫することや音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
教科書	中学生の音楽1(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
副教材等	MY SONG(教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト(演奏・聴き取り等) ・楽譜、ワークシート、作品やレポート等への記述内容 など		

3 学習についてのアドバイス

学 校	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲者や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・楽譜やワークシートには、自分の思いや考え、感じたことを書きましょう。
家 庭	・日常の生活において流れている音楽に耳を傾けましょう。 ・興味をもった曲の作曲者、音楽の特徴やその背景となる文化や歴史を自分で調べてみましょう。

4 題材・目標等について

月	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	思いをこめて合唱しよう	・思いを込めて明るい声で合唱しよう。 ・作者のメッセージを受け止め、思いをこめて合唱しよう。	西朝明中学校校歌 We'll Find The Way My Voice!
	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・パートの役割を感じ取って合唱しよう。 ・曲想を生かして合唱しよう。	朝の風に
	音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう	・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴こう。	和声と創意の試み 第1集 四季より 「春」
	イメージと音楽との関わりを感じ取ろう	・イメージをもたらす音楽の秘密を探ろう。 ・構成を工夫して、3つの場面の音楽をつくろう。	指揮をしてみよう！ Let's Create!
2 学 期	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・パートの役割を感じ取って合唱しよう。 ・曲想を生かして合唱しよう。	合唱コンクールの曲
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	・曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう。	魔王
	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌おう。	赤とんぼ
	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう	・音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくろう。	リズムゲーム クラッピングラブソ ディ第1番
3 学 期	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう	・日本に古くから伝わる箏の音楽を聴こう。 ・楽器の音色や響きと奏法との関わりを理解し、それらを生かして演奏しよう。	箏曲「六段の調」 さくらさくら（箏）
	曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・曲の構成や曲想の変化を生かして合唱しよう。	卒業式歌 国歌「君が代」・校歌

第1学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	美術1(日本文教出版)
副教材	美術資料 感じる表す美術(浜島書店)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアデザインスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアデザインスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト	- アイディアデザインスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品

3 学習についてのアドバイス

学校	- 自分の感性や個性を大切にして、美術の活動に取り組みましょう。 - 主題(自分の表したいこと)をもって制作に取り組みましょう。 - 主題をアイディアデザインスケッチや文章に表現して、構想を練りましょう。 - 作品について感じたことを友達とじっくり話し合ひましょう。 - 鑑賞の学習では、作者の心情や表現の意図と工夫について考えましょう。
家庭	- 生活の中で、「きれいだな」「すてきだな」「おもしろいな」と思った絵やデザイン、写真、形などをスケッチしたり写真に撮ったりしてアイディアを貯めておきましょう。 - いろいろなものをよく見ましょう。また、いつも見ているもの、身近なものでも、見る角度を変えると新しい発見があります。普段から「見方を変えて見る」ということをしてみましょう。

4 主な題材・教材及び目標

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	○オリエンテーション ・美術との出会い ・中学校美術の世界へようこそ ○手の描画 ○レタリング ・ゴシック体と明朝体の違い ・明朝体で苗字書く ○絵の具の説明 ・混色と面と線の書き方と筆遣い ○色彩学 ・色彩の基本・仕組み ○絵文字制作 制作 ○絵文字(鑑賞)	・美術科ではどのようなことを学ぶのかを知り、1年生で学ぶことや、3年間の学習の見通しをもつ。 ・基本の形や特徴を捉えて描き、明暗・立体感を表現する。 ・自分の手の形や特徴を捉え構図などを考えて、明暗・立体感を表現できる。 ・鉛筆の特性を生かして、意図に応じて工夫して表す。 ・文字のデザインの基礎・基本(明朝体やゴシック体の描き方)を学び表現できる。 ・絵具(ポスターカラー)の特性を生かし身につけ関心を持ち、意図に応じて工夫する。 ・色相環など、色の基本や仕組みを理解する。 ・形や色彩の特徴・陰影などを捉え、構成を工夫して造形する。 ・効果を考えながら様々な技法を応用する。 ・イメージや伝えたい内容が相手に分かりやすく伝わるよう、漢字文字の意味・形や色彩、構成を考え、材料や用具などを工夫して文字をデザインする。 ・身近なところにあるデザインされた文字を鑑賞し、形から受ける印象やその違いについて考える。 ・文字の意味やイメージを基に、伝える相手や場面などから主題を生み出し、分かりやすさと形を、全体の調和などを考えてデザインする。 ・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。
2 学期	○ポスター(鑑賞) ○伝統工芸(玩具) ○玩具(鑑賞) ○風神雷神図屏風を鑑賞しよう	・互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫について理解を深める。 ・構図、色彩や人物の表情や視線などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫について考えるなど見方や感じ方を広げる。 ・日本の伝統工芸の中の玩具について、その素朴で味わい深い文化を感じ取れる。 ・完成後、遊んでみることで楽しさを感じる。 ・作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。 ・作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。 ・作品を鑑賞して感じたことや考えたことについて、友達と意見を述べ合う。 ・作品を通して、作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などを考え、発表し合う。

3 学 期	○絵画に触れよう (鑑賞・デザイン・模写)	・ヨハネス・フェルメールの作品を鑑賞し、作品やデザインを模写して、自らの作品に用いることができる。
	○浮世絵はすごい(鑑賞)	・浮世絵のよさや特性などに関心を持ち、構図や色彩、作風や印象などを捉え、制作者たちの意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考えるなどの見方や感じ方を深める。
	○身近なもののデッサン	・身近にあるモチーフで その特徴、構図、明暗・立体感を表現できる。

第1学年 保健体育

1. 教科の目標

目標(ねらい)	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するために資質・能力を育成することを目指す。
使用教材	保健体育(大修館書店) ステップアップ中学体育(大修館書店) 保体ファイル 各種目に必要な施設・用具

2. 各教科でつきたい力

項目	内容	その力をつけるための具体的な方法 (評価するための材料)
知識・技能	・各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解している。 ・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について、個人生活を中心として科学的に理解している。 ・各領域の運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	●実技テストによる記録、得点 ●技能の正確さ、安定性、表現力 ●運動時の実践力
運動・健康・安全についての思考・判断	・運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。 ・個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	●授業中の発言内容や活動内容の状況 ●安全に留意し、運動に適した服装、髪型、つめなど ●学習カード、プリントの提出、記入内容 ●授業観察
主体的に学習に取り組む態度	・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	●授業の様子や発言内容 ●学習カードや授業ノートの記述

3. 学習方法についてのアドバイス

学習の進め方	《確かな学力を身につけるには》 ○運動や健康に興味、関心を持ち、楽しさを知ろう。 ○どんな種目でも積極的にチャレンジしよう。 ○どうすればうまく動けるか課題を理解し、練習を工夫しましょう。 ○仲間と協力して課題解決に取り組もう。 ○専門用語は教科書を使い確認しよう。 ○周りの安全確認を常におこなう。 《家庭学習》 ○基礎体力を向上させる為に、ランニングや筋力トレーニングなどで体力向上をおこなひましょう。 ○バランスの良い食事や睡眠など健康を考えた生活を送りましょう。 ○授業内容をステップアップ中学体育や保健の教科書を使い予習・復習しましょう。○授業プリントの整理 《定期テスト》 ○授業内容を理解し、ステップアップ中学体育や保健の教科書を使い復習しましょう。
学習上の注意等	○どの種目も特性に応じた楽しさがある。活動していく中でその楽しさに触れ、自ら積極的に取り組もう。 ○ルールを守り、安全に留意し、仲間とともに取り組もう。 ○知ること・見ること・実践することを大事にしていこう。 ○家庭生活においても、健康に留意し、病気・怪我などの予防に努めよう。 ○専門的な技能・高いレベルの技能を見て、イメージしよう。忘れ物をしない。

4. 学習予定

時期	各単元と主な学習内容	こんな力をつけよう！
1 学 期	集団行動 体づくり運動	一定の集団がひとまとまりになり行動するときの基本動作を身に着けよう。 姿勢, 方向転換, 集合, 整頓, 列の増減など一人一人が決まりを理解し, 能率よく行動しよう。
	新体力テスト	体力テストにおける各種目の調べる能力を知り, 優れている点, 足りない点を今後の生活に生かそう。
	保健「心身の機能の発達と心の健康」「健康な生活と病気の予防」	心身の機能の発達と心の健康について関心をもち, 学習活動に意欲的に取り組もう。 身体機能の発達, 生殖にかかわる機能の成熟, 精神機能の発達と自己形成, 欲求やストレスへの対処と心の健康について, 課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しよう。 健康な生活と疾病の予防について関心をもち, 学習活動に意欲的に取り組もう。 健康の成り立ちと疾病の発生要因, 生活行動・生活習慣と健康, について, 課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかかわりを理解してい
	陸上競技 ・短距離走 ・リレー 保健	なめらかな動きで速く走ろう。(短距離) バトンの受け渡しで次走者のスピードを高められるようにしよう。
	バレーボール 保健	ボールを受ける前の身体の構え方(準備姿勢)やボールをとらえる位置への移動を通して, 基本的なボール操作を身につけよう。
	水泳 保健	記録の向上の楽しさや喜びを味わい, 泳法を身につけることができるようにしよう。手と足, 呼吸のバランスをとり速く泳げるようにしよう。(クロール)
2 学 期	ダンス 陸上競技 体づくり運動 保健	リズムの特徴をとらえ, 変化のある動きを組み合わせ, 様々なステップを習得し, リズムに乗って全身で踊ることができるようにしよう。
	器械運動 ・マット運動 保健	回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに行えるようにしよう。
	ソフトボール 保健	ボールを受ける前の身体の構え方やキャッチするときのグローブ操作, ボールの握り方などの基本的なボール操作と, バットの握り方や振り方などの基本的なバット操作を身につけよう。
	陸上競技 ・長距離走 保健	自己のスピードを維持できるフォームでペースを守りながら, 一定の距離を走り通し, タイムを短縮したり競争したりできるようにしよう。
3 学 期	サッカー バスケットボール 保健「運動やスポーツの魅力と学び方」	ボール操作と空間に走りこむなどの動きを身につけよう。シュートやパスをしたり, ボールをキープするなどのボール操作ができるようになろう。
	サッカー バスケットボール 保健	ボール操作と空間に走りこむなどの動きを身につけよう。シュートやパスをしたり, ボールをキープするなどのボール操作ができるようになろう。
	剣道 保健	竹刀の握り方を習得し, 基本的な動作である素振りや面打ちができるようになろう。

第1学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野(開隆堂)
副教材	なし

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期テスト、実技テスト等 ・指導に対する成果物(作品等) ・授業の様子や発言内容	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(作品等)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じて書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと(日常生活)に活かせるようにしましょう。 ・特別教室(技術室・PC 室)を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。
家庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	・情報についての基礎的・基本的な知識・技能	・情報の表現、記録、計算、通信などについての科学的な原理・法則の理解・情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティなどに関わる基礎的な技術の仕組みの理解することができる。
	・ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みの理解することができる。 ・安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等を行うことができる。
	・計測・制御のプログラミングによる問題解決	・情報の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し解決することができる。
2 学 期	・社会の発展と情報の技術	・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術进行评估し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。
	・情報セキュリティと情報モラル	・情報セキュリティの重要性と危険を防ぐための技術を知ることができる。 ・基本的な情報セキュリティ対策を実行することができる。

第1学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 家庭分野(開隆堂)
副教材	技術・家庭ノート 家庭分野 (進学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス(技能)テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等)	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等)	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(レポート、作品等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞きましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・学習の記録(ノート等)は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
家庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどうのように考えるのかを整理しましょう。 ・学習したことを、家庭で実践してみましょう。

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

時間	主な単元・教材等	主な学習目標
2 学期	A 家族 家庭生活	家庭分野ガイダンス
		・ワークシートや話し合いによって、これまでの自分を振り返る。 ・家庭科の学習が生活の自立や持続可能な社会の形成につながることに気づく。
	1 自分の成長と家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族	・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。
	B 衣食住の生活(衣生活)	2編1章 衣生活と自立 ①衣服の働きを考えよう
		・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。
		②T.P.O. を踏まえた自分らしい着方を工夫しよう。
		・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える。
		③衣服の計画的な活用方法を考えよう
		・衣服調べをして、必要な衣服の数量を把握し、過不足や処分の仕方を考える。
		④必要な衣服を選択しよう
		・手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既製服の適切な選択方法を知る。
3 学期	B 衣食住の生活(衣生活)	⑤衣服の手入れをしよう
		・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。
		⑥よりよい衣生活を目指して
		・よりよい衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。
		①生活を豊かにするための工夫をしよう
		・生活の中で、あるといいなと思うものを考える。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 ・生活を豊かにする具体的な物を製作する。
	B 衣食住の生活	①住まいの役割と住まい方を考えよう
		・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。
		②住まいの安全について考えよう
		・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。
		③災害に備えた住まい方について考えよう
		・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。
	④健康で快適な室内環境を工夫しよう	・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。
		⑤よりよい住生活を目指して
		・家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見つけ、改善方法を考える。

第1学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 1
副教材	エイゴラボ①(正進社)、Benjamin(ノート)(正進社)

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてははっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと(やり取り)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと(発表)	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等)	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等)	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物(ノート、ワークシート等) ・振り返り(自己・相互評価)

3 学習についてのアドバイス

学校	・間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的にALTの先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
----	---

家庭	・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。 ・教科書の本文を、何度も音読しましょう。 ・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。 ・予習として、単語調べをしておきましょう。 ・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。
----	---

4 主な単元・教材及び目標 ※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	Let's Be Friends!	・お互いの気持ちをたずね合ったり、会話を聞いて場面を考えたりすることができる。 ・好きな色、行きたい国、誕生日について聞き取ったり、話したり書いたりすることができる。 ・数を表す言葉を読んだり聞いたり言ったりすることができる。 ・アルファベットの大文字と小文字を聞いて書き取ることができる。 ・音とつづりの関係を考えて、基本的な単語を聞き取ったり言ったりすることができる。
	Unit 1 Here We Go!	・会話から、その人の情報を聞き取ることができる。 ・自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。
	Daily Life 1 国際郵便	・海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。
	Unit 2 Club Activities	・会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。 ・好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。
	Unit 3 Enjoy the Summer	・インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。 ・夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。
	World Tour 1 世界の中学生	・世界の挨拶や、中学生の生活の様子を知ることができる。
	Active Grammar 1 am、are／一般動詞／can	・自分と相手のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
2 学 期	You Can Do It! 1 自己紹介で共通点・相違点を見つけよう	・6 人の中学生のプロフィールを読んで、共通点・相違点を見つけることができる。 ・自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つけることができる。
	Unit 4 Our New Friend	・人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。 ・身近な人などについて、基本的な情報を紹介することができる。
	Unit 5 This Is Our School	・学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。 ・お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。

	Daily Life 2 落とし物	・落とし物の持ち主を探すやり取りができる。
	Active Grammar 2 代名詞	・代名詞の使い方を理解することができる。
2 学 期	Unit 6 Cheer Up, Tina	・紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。 ・身近な人の基本的な情報を伝える紹介文を書くことができる。
	Active Grammar 3 is / 3 人称単 数現在形	・自分と相手以外のことを伝える言い方を理解し、使うことができる。
	Daily Life 3 カフェ	・飲食店で注文するやり取りができる。
	World Tour 2 世界の時刻	・日本と世界の時差について知ることができる。
	Active Grammar 4 疑問詞	・疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解し、使うことができる。
	Let's Read 1 What Am I?	・説明文から"I" についての情報を読み取ることができる。
	You Can Do It! 2 「ドリームファミリー」を紹介しよう	・「ドリームファミリー」の紹介から、家族の情報を聞き取ることができる。 ・グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。
3 学 期	Unit 7 New Year Holidays in Japan	・はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・冬休みの出来事や感想などを伝えるはがきを書くことができる。
	Active Grammar 5 動詞の過去形	・一般動詞と be 動詞の過去形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 4 ウェブサイト	・ウェブサイトから必要な情報を読み取ることができる。
	Unit 8 Getting Ready for the Party	・写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。 ・写真に状況を説明するキャプションを書くことができる。
	Active Grammar 6 現在進行形	・現在進行形について理解し、使うことができる。
	Daily Life 5 ラジオの中継	・ラジオの中継から現地の様子を聞き取ることができる。
	Let's Read 2 The Lion and the Mouse	・物語からあらすじを読み取ることができる。
	You Can Do It! 3 学校行事の紹介ページを作ろう	・学校紹介のウェブサイトを読んで、自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。 ・グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。
	Let's Read more My Japanese Lessons	・まとまった分量の英文の概要を読み取り、感想や意見をもつことができる。

「学年の目標」 自分のことや日常生活について、まとまりのある内容を伝え合うことができる。

5つの領域	技能目標(CAN-DO)	教材ごとの到達目標	教材名	教科書ページ
Listening 聞く	[L-0]ははっきりと話されれば、音声聞いて、書かれた文字と一致させることができる。	アルファベットを聞き取ることができる。	Let's Be Friends! 6	pp. 16-17
		発音された単語と文字を一致させることができる。	Let's Be Friends! 7	pp. 18-19
		アルファベットの発音を聞き分けることができる。	Sounds and Letters	pp. 20-24
		読まれた本文の音声と文字を一致させることができる。	Unit 4-8 Story	pp. 64-68ほか
	[L-1]ははっきりと話されれば、日常的な話題について、具体的な情報を聞き取ることができる。	会話から、その人の情報を聞き取ることができる。	Unit 1 Goal	p. 36
		会話から、好みや得意なことなどを聞き取ることができる。	Unit 2 Goal	p. 46
		インタビューから、したいことなどを聞き取ることができる。	Unit 3 Goal	p. 56
		インタビューから、世界の中学生の生活の様子を聞き取ることができる。	World Tour 1	p. 57
		人物紹介から、基本的な情報を聞き取ることができる。	Unit 4 Goal	p. 70
		電話のやり取りから、現地の時刻などを聞き取ることができる。	World Tour 2	pp. 96-97
		「ドリームファミリー」の紹介から、家族構成などを聞き取ることができる。	You Can Do It! 2	p. 100
		写真の説明から、その場の状況を聞き取ることができる。	Unit 8 Goal	p. 126
		ラジオの中継から、現地の様子を聞き取ることができる。	Daily Life 5	p. 129
	[L-2]ははっきりと話されれば、ストーリーや日常的な話題について、おおまかな内容を捉えることができる。	ストーリーの概要を捉えることができる。	Unit 1-8 扉Listen	p. 29ほか
Reading 読む	[R-0]文字を見て、英語らしい発音やリズムで音読したり、黙読したりすることができる。	つづりを見ながら単語を発音することができる。	Let's Be Friends! 7	pp. 18-19
		文字を正しく読むことができる。	Sounds and Letters	pp. 20-24
		本文を音読することができる。	Unit 4-8 Story	pp. 64-68ほか
	[R-1]日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから、具体的な情報を読み取ることができる。	中学生のプロフィールから、共通点・相違点を見つけることができる。	You Can Do It! 1	pp. 60-61
		学校公開の案内状から、時間や場所などを読み取ることができる。	Unit 5 Goal	p. 80
		紹介文から、その人物が誰かを読み取ることができる。	Unit 6 Goal	p. 92
		説明文から、“I” についての情報を読み取ることができる。	Let's Read 1	p. 99
		はがきから、出来事や感想などを読み取ることができる。	Unit 7 Goal	p. 114
		ウェブサイトから、必要な情報を読み取ることができる。	Daily Life 4	p. 117
		学校行事のウェブサイトから、具体的な情報を読み取ることができる。	You Can Do It! 3	p. 132
	[R-2]ストーリーや日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた文章から、おおまかな内容を捉えることができる。	本文の内容についての質問(Q)に答えることができる。	Unit 1-8 Story	p. 30ほか
		物語から、あらすじを読み取ることができる。	Let's Read 2	pp. 130-131

Speaking 話す (やり取り)	[SI-1]自分のことや興味のあることについて、簡単な語句や文を使って、その場で質問したり、伝え合ったりすることができる。	好きな色などについてたずねたり伝えたりすることができる。	Let's Be Friends! 2	pp. 8-9
		行ってみたい国についてたずねたり伝えたりすることができる。	Let's Be Friends! 3	pp. 10-11
		お互いの誕生日をたずね合うことができる。	Let's Be Friends! 5	pp. 14-15
		好きなことや得意なことなどについて、たずね合うことができる。	Unit 2 Goal	p. 46
		夏休みにしたいことについて、アンケートを取ることができる。	Unit 3 Goal	p. 56
		お気に入りの学校内の施設について、たずね合うことができる。	Unit 5 Goal	p. 81
		自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができる。	Let's Talk!	とじ込み
Speaking 話す (発表)	[SI-2]ストーリーや日常的话题について、簡単な語句や文を使って、やり取りをすることができる。	落とし物の持ち主を探すやり取りができる。	Daily Life 2	p. 82
		飲食店で、注文をするやり取りができる。	Daily Life 3	p. 95
	[SP-1]自分のことや興味のあることについて、簡単な語句や文を使って、その場で話すことができる。	自己紹介をし合い、お互いの共通点・相違点を見つけることができる。	You Can Do It! 1	p. 61
		自分のことについて、その場で話すことができる。	Let's Talk!	とじ込み
		[SP-2]ストーリーや日常的话题について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある内容を話すことができる。	Unit 4 Goal	p. 71
		グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。	You Can Do It! 2	p. 101
		学校行事の紹介ページを作り、発表することができる。	You Can Do It! 3	p. 133
		ストーリーについて、簡単な語句や文を使い、その場で話すことができる。	Story Retelling	pp. 136-143
Writing 書く	[W-0]読まれた文字や語句を活字体で書いたり、簡単な語句や表現を書き写したりすることができる。	自分の好きな色を書き写して伝えることができる。	Let's Be Friends! 2	pp. 8-9
		自分の行ってみたい国を書き写して伝えることができる。	Let's Be Friends! 3	pp. 10-11
		自分の誕生日を書き写して伝えることができる。	Let's Be Friends! 5	pp. 14-15
		アルファベットの大文字と小文字を書くことができる。	Let's Be Friends! 6	pp. 16-17
		音声を聞いて、単語の初めの文字を書くことができる。	Let's Be Friends! 7	pp. 18-19
		音声を聞いて、単語の初めの文字や真ん中の文字を書くことができる。	Sounds and Letters	pp. 20-24
		自分が好きなことなどを伝える文を書くことができる。	Unit 1-3 Write	p. 31ほか
	[W-1]自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にして、書くことができる。	自己紹介カードに、自分の情報を書くことができる。	Unit 1 Goal	p. 36
		海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。	Daily Life 1	p. 37
		冬休みの出来事や感想などを伝える、はがきを書くことができる。	Unit 7 Goal	p. 115
		会話をふり返って、自分が言えたことを書くことができる。	Let's Talk!	とじ込み
	[W-2]日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、簡単な語句や文を使って、まとまりのある文章を書くことができる。	身近な人の基本的な情報を伝える、紹介文を書くことができる。	Unit 6 Goal	p. 93
		写真に、状況を説明するキャプションを書くことができる。	Unit 8 Goal	p. 127